



誠実な卒業生の姿、みんなでつくり上げた式に感動！

校長として、卒業生一人一人に卒業証書を授与できること、式辞で思いを伝えられることは、大変光栄なことです。それは子どもたち一人一人の気持ちを間近で感じることができるからです。



静まり返った体育館に「令和6年度卒業 第6学年1組 27名」学級担任の声が響きます。その声に、数名の子どもたちが、ずっと立ち上がり、ステージに足を進め、一人一人スピーチをします。演台から見える卒業生の鼓動の高まりが聞こえてきそうです。そして、演台に足を進める子どもたちは、いろいろな表情を見せます。「大きく息を吐く子ども」「目を見開き、やり切った表情を見せる子ども」日頃とは全く違った厳粛な空間で、自分の気持ちを言葉にして表現する。相当な緊張感を克服した子どもたちは、私と目と目で会話し

ながら、やり切ったすがすがしい表情で卒業証書を受け取ってくれました。

「おめでとう。」私の掛ける一言に、うなずく子ども、にっこりする子ども、「ありがとうございます。」と返事をする子ども、ほんの短い時間ですが、子どもとの今年1年間の様々なシーンが目に浮かんできます。立派になった姿への喜び、もう会えなくなることへの寂しさ、様々な感情が沸き上がりました。

その間、フロアに目を向けると、お兄さん、お姉さんの晴れの姿を終始ニコニコしながら見つめる妹や弟の姿、目頭をハンカチで拭く保護者の姿に、卒業する子どもたちが愛されて育ってきたことを感じ、嬉しく思いました。



そして、式辞。「卒業生の皆さん。」と呼びかけた際には、背筋をピンと伸ばし、「胸を張って、笑顔で飛び立ってください。」に、うなずく子どもたち。さらに子どもたちが愛おしく感じられました。



ひな壇に整列しての「卒業の喜び」。呼びかけや合唱、自分たちの気持ちを声にして伝える最高の表現。子どもたち一人一人の頑張る気持ち、参列者にこれまでの感謝の思いを伝えようとする気持ち、力を合わせて創り上げようとする気持ちなどが感じられ、胸が熱くなりました。

卒業生、ご来賓の皆様、保護者の皆様、4・5年生の子どもたち、教職員、全員で創り上げた、厳粛で温かい卒業式。みなさん、ありがとうございました。

卒業式が終わった翌週の月曜日、茨島で朝の登校を見守っている方から学校に電話がありました。内容は、卒業式の朝、3人の制服を着た旭南小学校の子どもに「卒業おめでとう。」と話しかけたところ、「6年間ありがとうございました。」との返事に感動したということでした。素晴らしい卒業式に花を添える心温まる出来事となり、子どもたちを誇らしく思いました。「挨拶のよさ」は校報第3号でもお伝えしていましたが、このような子どもたちを育ててくださっているご家庭、地域の皆様に感謝するとともに、これからも「地域に元気を与える」学校であり、子どもたちを育てていきたいと思います。

頑張った実感が進級への希望に ～修了式より～



1年生で頑張ったことと2年生で頑張りたいこと

1年1組 工藤 怜華

私が1年生で1番頑張ったのは、学習発表会です。大きな声でセリフを言えたり、鍵盤ハーモニカも上手く弾けました。ダンスも上手に踊れたと思います。発表会の日まで、できないと思っていた交差跳びが、十回も跳べて嬉しかったです。歌も上手に歌えてよかったです。お家の人も喜んでくれました。

2年生になってから頑張りたいと思っているのは、新しい1年生や友達に勉強や遊び方を教えることです。教えながら、みんなで協力し合いたいです。1年生が入学してきて、1つお姉さんになるので、やさしく教えてあげたいです。2年生になるのが、楽しみです。



3年生で頑張ったことと4年生の目標

3年1組 酒井 絢音

私が3年生で頑張ったことは、リコーダーです。リコーダーで変な音が出ないように頑張って練習した結果、今ではきれいな音を出せるようになりました。きれいに吹けるようになったとき、達成感をものすごく感じました。最も印象に残っている曲は「6年生を送る会」で演奏した「エーデルワイス」です。演奏中はとても緊張しましたが、友達と休み時間にたくさん練習したおかげで、上手に吹くことができました。

4年生になって頑張りたいことは、クラブ活動です。竿燈クラブに入りたいと思っています。クラブ活動を見学しに行ったときに「自分もお囃子をやって竿燈を盛り上げたいな。」と思ったからです。竿燈クラブに入ったら、笛に挑戦してみたいです。他にも頑張りたいことは、外国語の学習です。今まで以上に英語をスラスラ言えるようになりたいです。そして、ジョーダン先生と英語で話してみたいです。今から4年生になるのが楽しみです。



努力と責任の大切さ

5年2組 玉木 榛弥

僕が5年生になって学んだことを3つ話します。

1つ目の学習面で努力したことは図工のクロッキーです。五年生になり、クロッキーやデッサンなどの課題で、動きが複雑だったり、細かいものだったりとなんか難しくなってきました。何度もいろいろなものを描いて練習し、少しずつ納得できるものを描けるようになってきました。そして、秋田市クロッキー展で賞を取ることができました。このことから、絵に自信を持つことができたので、これからも練習してもっと絵がうまくなるように努力を心がけます。

2つ目の運動面で努力したことはフィギュアスケートです。4年生の12月から習い始めて、5年生の後学期からスケートでは難しい技のジャンプにチャレンジできるようになりました。みなさんはフィギュアのジャンプを知っていますか。フィギュアには、前向きからジャンプするアクセルや、後ろ向きで足をクロスしてジャンプするルッツなど6種類もあります。何度も失敗して転び、大変ですが、技ができたときには最高の達成感があります。練習も難しくなっているけれども勉強とスケートの両立を重視していきたいです。

3つ目の生活面で努力したことは委員会活動です。5年生になると委員会活動が始まりました。僕は計画委員で、常時活動の旗上げや、いろいろな行事の計画など、たくさんのことを学びました。学校全体のことに関係することが多く、責任の大切さを知ることができました。

いよいよ4月から6年生になります。6年生になるともっと勉強が難しくなったり委員会で作る内容が大掛かりのものになったりするけど、努力を忘れず、人を思いやる心を大切に頑張りたいです。

※ HP「学校の様子」のコーナーで子どもたちの学ぶ様子を伝えてきました。3月26日現在、4月からアクセス数が16000回を越え、とても喜んでいきます。ご覧いただきありがとうございます。